

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句  
令和二年六月度 入選句（投稿総数千三百四十八句・一般投句数四百六十八句）

特選

日が昇る植田は色を変えながら

大垣市

米川 弘子

昨日より今日、今日より明日、植田は日いち日と色を変えながら成長して行く、日が昇るはまた新しい一日が始まるということ、昨日よりも成長した植田が昇り来る太陽を映してきらきらと輝く、そうだ今日も元気だ、空気が旨いと大きな深呼吸、口をついて出て来た五・七・五、日が昇る植田は色を変えながら、連れて来た犬が、きよとんと私を見上げている面白さ。

流す背のありて幸せ母の日よ

養老郡養老町

田中 紫香

いつまでもあると思うな親と金、じゃあないけれど、今母のある幸せをよろこぶ心が嬉しいではないか。

裸のつき合いというのはあるけれど、親子の裸のそれはまた違った趣があつて清々しい。思えば最早や母逝きて三十年、男として母の背を流すことはなかつたが、母の背が思い出されるなつかしい一句に出合つた。

雨の日は降ろしておくれ鯉のぼり

不破郡垂井町

五島 葉子

雨が降つて来たら、いち早く片付けるのが鯉のぼり、雨に打たれてしょんぼりと垂れ下がる鯉のぼりなんて絵にならない。

しかし時代は変つて今の鯉のぼりは街の活性化、観光化のシンボル、何百匹もが河を横切り雄大に泳ぐ姿は壮観、その昔にはなかつた風景である、と喜んで雨になつたら一斉に降ろしてやれないのが実情。

でも思う 雨の日は降ろしておくれ鯉のぼり

秀逸

若葉風夫と歩幅合わせいる

本巢郡北方町

三輪 幸恵

車間距離人間距離や新樹光

東京都北区

菱沼 多美子

鯉入れてピンクの蚯蚓縮みけり

不破郡垂井町

高木 治子

白よりも白く咲く花薄暑かな

大垣市

大杉 すみゑ

どの雲もおおのれ汚さず青芒

養老郡養老町

河村 紀年

名を呼ばれ大きな返事夏の山

愛知県名古屋市

舘野 茂子

縦列に並びし児らの夏マスク

大垣市

平野 きぬよ

紫陽花や昨夜の決意のはや揺らぎ

埼玉県川口市

木下 洋子

花菖蒲母の高さや車椅子

大垣市

山田 千歌子

明日植うる田に月置いて帰りけり

三重県四日市市

後藤 允孝

入選

飛魚の船と競ふて飛ぶ速さ	安八郡神戸町	早津	郁男
散り終へて桜自由な時間持つ	東京都世田谷区	関戸	信治
鉢植の小さき梢にも若葉	岐阜市	花川	和久
土の香と共に竹の子提げて来ぬ	大垣市	田中	岸子
装ひは年より派手目多佳子の忌	大垣市	中山	あや子
旅をせし留守に筍伸びにけり	大垣市	鶴田	信子
れんげ田は子らの遊び場首飾り	大垣市	大角	信華
修繕を終えるマンション柿若葉	大垣市	小林	一貴
懐妊の知らせ届くや鯉のぼり	安八郡神戸町	北村	咲子
休校の大樹ひっそり余花の雨	大垣市	傍島	豊子

入選

浮子一点みつめ少年夏に入る	大垣市	臼井	秀子
音たててすするざる蕎麦薄暑かな	大垣市	山田	千歌子
若竹や氣迫みなぎる豆剣士	大垣市	新町	恵子
茄子を植うきれいにコロナ忘れ去り	安八郡神戸町	高橋	泰
花筏鯉の尾びれに裂かれ行く	大垣市	高田	雅章
蚕豆やテレビに飽きし子にむかす	大垣市	村瀬	佐智子
草笛や誰に聞かする訳でなく	福岡県福岡市	大津	英世
孫と見る小学校のさくらかな	長野県下伊那郡	長沼	昌岳
膝小僧に赤チンの丸裸足の子	三重県四日市市	藤田	勝民
学校へ行けぬ児と爺柿の花	岐阜市	堀江	美州

選者吟

己が空賞ひぬ早苗植ゑられて

青志